

PRESS RELEASE

同時発表：国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、
東京都庁記者クラブ

ゴッド バレー
未来を創るまち『神谷町 God Valley ビジョン』策定

2020年「東京ワールドゲート」の先を見据え、グローバル&クリエイティブな街づくりを始動
「SDGs」「オープンイノベーション」「スマートテクノロジー」「ウェルネス」の4本の柱で実現



Kamiyacho
God Valley

森トラスト株式会社（本社：東京都港区 社長：伊達 美和子）は、2017年に新コーポレートスローガン「Create the Future」を策定し、2030年より先を見据え、「わくわくするような未来の創造」に向けて、多面的な取り組みを行っています。

この度、国際的な拠点として整備が進む港区虎ノ門「神谷町」（旧町名）エリアの街づくりビジョンとして、未来を創るまち『神谷町 God Valley ビジョン』を策定しましたので、お知らせします。

神谷町エリアは、霞が関など行政機能に隣接した都心中枢部にあり、各国大使館が拠点を構え、緑豊かな環境が広がることから、グローバル企業が集積し、外国人コミュニティが形成されてきた地として知られています。現在、本エリアは、東京五輪までに開業予定の開発計画で、都内最大級の国家戦略特別区域特定事業である『東京ワールドゲート』（2020年3月竣工予定、神谷町駅直結）をはじめ、多くの大型開発が進み、東京を代表する国際的な拠点として整備が進められています。

当社は、神谷町が「世界が注目し、新たな価値が生まれるグローバル&クリエイティブなエリア」へと発展する未来を目指し、ビジョン実現に向けた4つの柱「SDGs」「オープンイノベーション」「スマートテクノロジー」「ウェルネス」を定め、5つのアクションプラン「街づくりの中でのSDGsの促進」「クリエイティビティを高めるエリア空間の構築」「未来のテクノロジーや次世代サービスの導入」「多様なコミュニティの形成」「エリア連携イベントの開催」を展開してまいります。

現在、『城山トラストタワー』をはじめ、当社保有施設において店舗・オフィ스로ビー等のバリューアップを進めるなど、スマートでストレスフリーな環境や交流促進機能を順次提供する予定です。

また、エリア内の企業・団体と連携し、セミナー等を含む交流会や文化・スポーツ振興イベント、オープンイノベーションに向けたフォーラムなど、各種エリアイベントを開催する予定です。

森トラストグループは、持続可能な社会の実現に向け、創造性と活気にあふれる街づくりを追求し、そこに集う人達と共に未来を共創する、未来志向のエリアマネジメントを目指してまいります。

未来を創るまち『神谷町 God Valley ビジョン』実現に向けた4つの柱

① SDGs ～持続可能な社会の実現～



SDGs*達成に向け、個々の企業・団体での取り組みからエリア単位の街づくりに発展させ、エリアで連携して推進します。ファーストステップである「SDGsの理解」を促進する取り組みからスタートし、社会課題の解決に向けた活動を広げていきます。

※2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

② オープンイノベーション ～新たな価値の共創～



文化・スポーツ・芸術・歴史・科学等の振興からビジネス活動まで、エリアに集う、グローバルで先進的な企業・団体と連携し、エリアでの交流を通して未来の新たな価値を共創していきます。

③ スマートテクノロジー ～未来のワーク・ライフスタイルの創造～



未来のスマートなワークスタイル・ライフスタイルの創造に向け、先端テクノロジーや次世代サービスを積極的に導入していきます。エリア内の施設を新技術開発のための実証実験の場として提供するなど、エリアに集う人達が気軽に未来の技術に触れ、体感することで生まれる新たな発想を、新商品や新技術の開発に繋げます。

④ ウェルネス ～エリアにおける活力の創出～



ウェルネスを、「身体の健康」「心の健康」「社会的な健康」の3つが整うことと捉え、自然を感じる緑豊かな環境の中で、医療機能、活力やエネルギーをチャージするアクティビティの提供、共感し合いモチベーションを高め合うコミュニティの形成、自己実現の機会の創出など、多面的に取り組めます。

アクションプラン



① 街づくりの中での SDGs の促進

- ・SDGs 達成の第一歩となる「SDGs の理解」を促進するセミナーやイベント等の活動の展開 など

② クリエイティビティを高めるエリア空間の構築

- ・エリアに集う人々のニーズ・ウォンツに応える、スマートでストレスフリーな環境の提供
- ・エリアでの交流を促進するコワーキングスペース等の整備
- ・店舗の自社グループ直営化推進による、新しいワーク・ライフスタイルの提案 など

③ 未来のテクノロジーや次世代サービスの導入

- ・オフィスや自社グループ直営店舗におけるスマート化の推進
- ・当社出資先企業やエリア企業などと連携した、次世代サービスの実証実験や導入 など

④ 多様なコミュニティの形成

- ・神谷町エリアのワーカーを中心とした各種交流会の開催
- ・神谷町発の新たな価値創造を目的とした、エリアに縁の深い企業・団体による協議会の発足 など

⑤ エリア連携イベントの開催

- ・企業・団体の先進的な取り組みや魅力的なコンテンツを紹介するエリア発信イベントの開催
- ・文化・スポーツ・芸術・科学などの振興を目的としたイベントの開催
- ・オープンイノベーションに向けたセミナー・フォーラム等の開催 など

神谷町エリアについて



神谷町エリアは、新橋方面から六本木方面に向かって標高が高くなる丘の上に位置しており、江戸時代には武家屋敷が広がっていました。1977年に虎ノ門に含まれ、旧町名となった「神谷町」ですが、駅名称など現在も地域に根付いています。

本エリアは、外国人人口比率が非常に高く、大使館の過半数が集まる港区の中で、外資系企業も多く立地し、都心3区でトップクラスの豊かな緑が広がる、国際色豊かな職住近接エリアです。

また、2020年には日比谷線新駅の供用開始も予定されており、今後の発展が期待されています。都市再生緊急整備地域の地域整備方針においても、多様な機能を備え、にぎわいにあふれた国際性豊かな交流ゾーンを形成することや、業務・商業・文化・交流・宿泊等の多様な機能の誘導および高度な専門性を有する業務支援機能の強化が求められています。

